

五木源ふれあいフェスティバル



五木東小 第32号

学校便り
文責
生田 文明

二十三日(日)、園児・児童生徒・保護者・地域の方々、約百三十名の参加のもと第十四回五木源ふれあいフェスティバルを開催しました。

ステージ発表の部では、今年度、初めて全校合奏に取り組みました。昨年ヒットした「あまちゃん」のオープニングテーマと「カノン」を合奏しました。それぞれのパートを各学年で受け持ち、全校児童の息の合った演奏をお届けしました。また、一、二年生は、国語の学習を生かし「スイミー」の劇を行いました。海の生き物を巧みに表現し、みんなで力を合わせるこの大切さを歌や劇で伝えました。三、四年生は、「大好き！五木村」と題して、これまでの授業で、地域の方々から教えていただいた川辺川の鮎、山女魚、また、こんにやく作りについて、学習時の様子を再現し、五木の自然、食のすばらしさについて発表しました。五、六年生は、五木と西南戦争との関わり、商業の始まりについて、地域の方の話や実際の見学をとおして学んだことを薩摩弁も交えながら、幕末当時の様子を時代劇風にして発表することができました。



花いっぱい運動

フェスティバルの後は、東分館、村婦人会から、昼食として、とてもおいしい豚汁をふるまっていたきました。さらに、午後からは、東分館主催の花いっぱい運動が開催されました。フェスティバル参加者で、約二百のプランターに六百株のパンジーを移植し、学校や地域を彩ることができました。

小学生の発表の他に、太極拳愛好会、幽谷源平太鼓、五木村社会福祉協議会の皆様、五木村中央保育所、保護者の皆様にもステージ発表をしていただき、本フェスティバルを盛り上げていただきました。また、展示の部では、小中学生の作品の他に、地域の方々からもたくさん出展していただきました。学校と保護者、地域が一体となった。まさに「五木源ふれあいフェスティバル」となりました。ご出演、ご出展していただきました皆様、誠にありがとうございました。



今回移植したパンジーを心をこめて大きく育て、春には、花いっぱい東小・五木村を、村を訪れる方々に観てもらいたいと思います。

心の集會

第三回となる「心の集會」では、「ねずみくんの気持ち」を題材にして、温かい心、思いやり、親切をキーワードとして、友だちとの接し方についての学習をしました。

何をやっても失敗ばかりで、ねこくんからいじめられるねずみくん。子どもたちには、ねずみくんが持っている大切なものとねこくんが忘れていたものを考えてもらいました。話し合いの中で、目には見えない心の部分を出し合っていました。そして、相手を思いやる心を持っているねずみくんとそれを忘れていたねこくんを確認し、ふくろうさんが教えてくれた大切なこと「思いやり」を学びました。

学習の最後は、「やさしさの花」への取組を確認しました。やさしさの三色の花をたくさん咲かせている東小の子どもたち一人一人も、相手のことを考えることができる「思いやりの心」が、大きく育ってきていることを伝えました。